

## 「日立ユビキタススクエア横浜」における「手話案内サービス」の開始 —ショールームのバリアフリー化により、「ヨコハマの福祉のまちづくり」に協力—

日立製作所 ユビキタスプラットフォームグループ(グループ長&CEO:立花和弘)、横浜支社(支社長:大辻 努)は、ユビキタスプラットフォームグループの製品・ソリューションを中心とした、ユビキタス情報社会の体感広場「日立ユビキタススクエア横浜」(横浜市戸塚区)において、耳の不自由な方の為に、手話で館内案内を行うサービスを7月14日から開始し、「ヨコハマの福祉のまちづくり」へ積極的に協力していきます。

日立製作所は、横浜市の「福祉都市ヨコハマの実現」をめざす「福祉のまちづくり推進」に共感し、企業の社会的責任(CSR)活動の一つとして、「だれでも楽しめるショールームづくり」を合言葉に、「日立ユビキタススクエア横浜」のバリアフリー化を推進しています。

今回の「手話案内サービス」はその一環として、耳の不自由な方にも楽しんで戴けるよう、ろうの社員5名(手話スタッフ)が自ら企画・立案したものであり、手話スタッフが彼らの特技である「手話」で耳の不自由な方の為に館内案内を行います。

なお、今回の「手話案内サービス」の実現にあたっては、横浜市福祉局障害福祉部 および 社団法人横浜市聴覚障害者協会 の皆様にご協力・ご助言を戴いております。今後、日立製作所は、その他の障害者の方にも喜んで「日立ユビキタススクエア横浜」にご来場いただけるようなバリアフリーの環境作りを横浜市等のご支援をいただきつつ、推進していきます。



### <「手話案内サービス」の概要>

#### 1. 実施日：毎月1回

- ①10時～12時 ②14時～16時

※手話が良く見えるよう、1回の受入人員は最大20名様までとさせていただきます。

※第1回目は7月14日、第2回目は8月23日、第3回目は9月14日です。

#### 2. ご案内内容（110分）

- ①記念撮影・挨拶（12分）

- ②日立紹介映像 「HITACHI NOW 2005（字幕付）」（18分）

- ③手話スタッフによるご案内（60分）

- ・プラズマテレビを代表とするコンシューマ向け製品
- ・大型映像システム、液晶リアプロジェクター等の業務用製品
- ・文化遺産の復元・保存技術「デジタルイメージシステム」
- ・難病ALSの患者さんの意志伝達装置「伝の心」等の介護&福祉ソリューション
- ・日立のデジタル家電の歴史を語る懐かしい製品 他

- ④自由見学・手話スタッフとのコミュニケーション（20分）

#### 3. お申し込み方法

事前のご予約が必要です。

- ①ホームページからの申し込み

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/vims/showroom>

- ②FAXでの申し込み

希望日時、お名前、ご住所、代表者ご連絡先（FAX番号）を明記の上、下記FAX番号にご送付下さい。折り返し、詳細等をご連絡します。

### <「日立ユビキタススクエア横浜」の概要>

- ・所在地 横浜市戸塚区吉田町292番地 HITACHI TECHNO PARK YOKOHAMA 内  
(JR東海道線、横須賀線、横浜市営地下鉄 戸塚駅下車 徒歩8分)  
電話:045-866-6162 FAX:045-866-5917
- ・開館時間 10:00-17:00
- ・休館日 土・日曜、祝祭日、弊社休業日
- ・ホームページ <http://www.hitachi.co.jp/Prod/vims/showroom>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---